| 科目ナンバリング | U-LAS03 10001 SB48 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 外国文献研究（全・英）-E1 ：19世紀における疑似科学と英米文学<br>Readings in Humanities and Social Sciences (All Faculties, English)-E1 :Pseudoscience and English Literature in the Nineteenth Century | | 担当者所属職名・氏名 | 人間・環境学研究科 准教授　中村　仁紀 | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 外国文献研究 | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ |
| 授業形態 | 演習（対面授業科目） | | | | |
| 開講年度・開講期 | 2026・前期 | 曜時限 | 火3 | 配当学年 | 2回生以上 |
| 対象学生 | 全学向 | | | | |

**[授業の概要・目的]**

本授業では19世紀の「疑似科学（pseudoscience）」と文学との関わりをテーマとし、様々な文献（科学、文学、哲学）を読みながら、科学において正統なものと周縁的なものがどのように線引きされていったか、また「文学」や「科学」という領域が歴史的にどのように規定されていったかについて考える。英語文献の内容・表現・背景を適切に理解・解釈する力を養いながら、様々な学問的領域の特性とその歴史に対する学びの姿勢を身につけることを目的とする。

受講者は教員が紹介・説明する英語文献（主に小説と（疑似）科学のテクストの抜粋）を読み、各自の関心に応じて読解・解釈・調査を行い、その成果を他の受講者と共有する。

**[到達目標]**

1）英語で書かれた文献を丹念に読み、また必要に応じて語彙や表現、書かれた背景等を調べた上で、理解した内容を人に説明することができる。
2）科学と人文学の関連性やそれらを取り巻く歴史的背景について、自分の関心に基づいて調査し、その成果を人に伝えることができる。
3）文学と科学を中心にそれぞれの学問分野のもつ特性を意識しながら、文献の読解を通じて自ら問いを立て、主体的にその問いを明らかにしようとする探求的な姿勢を養う。

**[授業計画と内容]**

第1回　イントロダクション　授業テーマと課題説明
第2回　19世紀における文学と科学
（Matthew Arnold, Thomas Huxley）
第3-5回　メスメリズム・催眠術
（Franz Anton Mesmer, Chauncey Hare Townshend, Edgar Allan Poe）
第6-8回　骨相学・人相学
（George Combe, Charles Dickens, Arthur Schopenhauer）
第9-12回　スピリチュアリズム
（Alfred Russel Wallace, Arthur Conan Doyle, Mark Twain）
第13回　総括
第14-15回　学生による発表

外国文献研究（全・英）-E1 ：19世紀における疑似科学と英米文学(2)へ続く↓↓↓

外国文献研究（全・英）-E1 ：19世紀における疑似科学と英米文学(2)

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

授業参加度（20点）、読解・ディスカッション・発表（40点）、最終レポート課題（40点）で総合評価する。

**[教科書]**

授業中に指示する

**[参考書等]**

（参考書）

Laura Otis 『Literature and Science in the Nineteenth Century: An Anthology』（Oxford UP, 2009）ISBN: 9780199554652

**[授業外学修（予習・復習）等]**

各回の予習は必須です。文献を丹念に読み、理解できていないところを明確にした上で授業に臨んでください。

**[その他（オフィスアワー等）]**

**[主要授業科目（学部・学科名）]**